

平成25年8月1日発行

鯖街道 熊川宿

若狭熊川宿まちづくり特別委員会

福井県三方上中郡若狭町熊川

TEL/FAX (0770) 62-0330

熊川宿ホームページ <http://kumagawa-juku.com>



La Festa Primavera 2013 (平成25年4月23日)

往年の名車に熊川宿賑わう

4日間をかけて近畿地方の公道約一、〇〇〇キロを走破する「ラフェスタプリマベラ2013」が最終日の4月23日熊川宿を訪れ、約60台のクラシックカーと多くの観光客が中ノ町を埋め尽くしました。

瓦版屋に扮した曾我過家福輔さんの実況司会で歓迎し、おもてなしの会の女性たちが葛湯の振る舞いを行いました。

熊川宿への来訪が2回目となる今年は、期間中天候にも恵まれ、堺正章さんや近藤真彦さんら著名人も来訪され、迎いは黒山の人だかり。「キヤーーー!がんばってー!」と黄色い声援が上がっていました。

熊川小学校の児童たちは、ドライバーたちにインタビュをしたり、手づくりマップをプレゼントしていました。

一行は、宿内でタイムレースのミニイベントを行い、次の目的地の今津総合運動公園に向けて走って行きました。熊川宿では、これらのおもてなし対応を受入れ、住民がまちに誇りを持ち、おもてなしや交流を通して生きがいを感じ楽しみながら暮らせるよう様々な取組みを進めています。

目次

- 往年の名車に熊川宿賑わう…… 1
- 寄稿文・事業計画・総集会…… 2
- 伝建大会報告・活動報告…… 3
- 活動報告・お知らせ…… 4

町並みの展望

熊川区長 松下和彦

昭和50年、重伝建制度が発足した当初は、100選定くらいで終息するのではないかとという声もありましたが、現在、伝建地区は全国で、100地区を超えたとの事です。

伝建制度は、支援制度が充実して、自治体から補助があり、相続税、固定資産税の減免支援、維持管理が比較的容易です。

先般、第35回全国伝建協議会総会薩摩川内大会に、若狭町教育長はじめ歴史文化課の皆様、まちづくり委員さんが参加されました。苦勞様でした。



白石神社祭礼での山車運行(5月3日)

西口公園まで地道街道の全カラー舗装のやり直しや、中ノ町のバス停と待避所の設置、町並みに整合した建物の新設、国道303号線の通行車両が多いことから歩道設置を要望しました。また西口公園近くにトイレ設置の予算もついたと聞き

ました。区役員・区民の助けを受けて、安心安全で住みやすい、美しい立派な「熊川宿」を見せようではありませんか！

全国伝建大会、成功に向けて...

国大会の開催地になります。県、町に要望書を提出した集落ヒヤリングにて、上位に道の駅裏から

平成25年度 若狭熊川宿まちづくり特別委員会 事業計画 (H25.6 抜粋)

- 5月18日 ツーデーマーチ協力
 - 5月22日～24日 第35回全国伝建協議会 (鹿児島県薩摩川内市)
 - 6月30日 セタ飾り付け
 - 7月 4日 若狭町伝建地区保存審議会
 - 7月下旬 町並み通信第27号の発行
 - 7月下旬 熊川城跡の整備
 - 7月下旬 白石神社や町並みの清掃
 - 8月13日～15日 街かど陶の灯り展 H25
 - 10月6日 第14回熊川いっぶく時代村 (同実行委員会主催)
 - 11月16日～17日 地域づくり団体全国研修交流会 福井大会 小浜市・若狭町分科会
- 平成26年
- 1月下旬 町並み通信第28号の発行
 - 2月 熊川宿まちづくり総集会
- (随時)
- ※地域づくり団体全国研修交流会福井大会に向けて
 - ※平成26年度第36回全国伝建協議会に向けて
 - ※空き家を活かした移住推進事業の継続
 - ※風景街道支援事業の要望
 - ※町並み関連の駐車場、前川、道路、神社の清掃と草刈り、看板の補修等
 - ※ホームページ更新
 - ※委員会、役員会、部会を開催

熊川宿まちづくり総集会 報告

とき：平成25年2月16日(土) ところ：熊川児童館



開会の挨拶に続いて、第一部では、京町家再生研究会の末川協氏が「京町家再生と景観向上の取り組み」と題して講演されました。その中で末川氏は、「町家の形態には文化に基づいた理由がある。熊川は、人も文化もコンパクトにまとまっている」

空き家に関しては、「京都にも空き家がたくさんある。アートイベントや町家でご飯、町家でエステなどに取組んできた」

修理修景については、「町家の改修は伝統工法で直している。技術の再生と継承のため勉強会を行っている。まちづくりファンドで資金を集め改修を行っている。ポロポロでもきっちり直ると見られるようになった」

さらに、「町家の中で京都の伝統産業が伝承され支えられてきた。そして、作法やもてなし、年中行事などの生活文化が培われてきた。自然に近い暮らしが出来るのが町家である」と語られました。

なおこの講演は、「福井ふるさとと百景景観づくり推進事業」の一環として行われました。

第二部では、立命館大学政策学部高村ゼミの学生さんによる空

き家対策の調査報告がありました。

(1)空き家を良好な状態で残すための管理方法については、地域での管理は住民の不安を和らげ、状態の良い空き家を残すことで改修費を抑え、移住者や店舗を呼び込み、空き家バンク制度の活用を促すことができる。

(2)空き家管理や活用の主体となる区の自治組織については、一人何役も兼任している現状をふまえ、住民一人一人が自治へ参加しやすい環境を作ることによって、参加が軽くなる。

(3)店舗集積による活用方法では、葛や鯖などの特産品を活かした店舗集積を行い、付加価値を創設する。店舗開発の危険性を考慮し、店舗集積における規約を制度化する。これらにより、熊川宿に根ざした地場産業の再生と発展をもたらし、空き家活用の促進を図る。

最後に、

空き家対策部長から、空き家を活かした移住推進事業で制作した「熊川宿暮らしのガイド」について説明がありました。



懇談会の後、学生たちと

第35回 全国重要伝統的建造物群保存地区協議会 薩摩川内市大会 報告

とき…平成25年5月22日(水)～24日(金)
ところ…鹿児島県薩摩川内市

全国伝建協議会薩摩川内市大会に、若狭町と熊川宿から15名が参加しました。

1日目午後、行政の総会に続いて開かれたパネルディスカッションでは、「100地区を越えた伝建地区のこれから」をテーマに、鹿児島大学土田充義名誉教授のコーディネーターで伝建協議会会長の野村萩市長、文化庁の島田敏男氏、4地区の代表が伝建制度への取り組みや思いを話されました。



情報交換会にて新聞PR



パネルディスカッション



入水瀬伝建地区にて若狭町と熊川宿の参加者



清色城跡の堀切

2日目、参加者は8班に分かれて、武家町で石垣造りの入来麓伝建地区を見学しました。行く先々で数人ずつの地元中学生が待っていて、案内してくれました。中でも清色城跡は、壮大な納壁の堀切とあって、涼風がとて心地よかったです。昼食を済ませて午後から再び入来文化ホールで文化庁講演が開かれました。講演は、熊川宿ではお馴染みの梅津章子調査官でした。「身近な文化財とまちづくり」をテーマに全国の伝建

続いて会場をホテルグリーンヒルに移し、情報交換会が開かれ、多くの参加者と懇親しました。中締めでは、次の開催地の熊川宿が紹介され、揃いの法被で壇上に上がり、来年の参加を呼びかけました。2日目、参加者は8班に分かれて、武家町で石垣造りの入来麓伝建地区を見学しました。行く先々で数人ずつの地元中学生が待っていて、案内してくれました。中でも清色城跡は、壮大な納壁の堀切とあって、涼風がとて心地よかったです。昼食を済ませて午後から再び入来文化ホールで文化庁講演が開かれました。講演は、熊川宿ではお馴染みの梅津章子調査官でした。「身近な文化財とまちづくり」をテーマに全国の伝建

地区の現状や課題を交えながら、「文化財を活かした住民主体の、安心安全で元気なまちづくりを展開していただきたい」と講演されました。続いて入来町に伝わる砲壱踊りを鑑賞しました。

その後、住民プログラムの分科会が開かれ、「伝建地区のこれから」、「施設の活用策」、「活動によるまちづくりの展開」の各課題で意見交換が行われました。熊川宿からは、空き家対策の取組みについて発表し、各地区の取組みや意見をお聞きしました。その後、の全体会でも、熊川宿の空き家対策について報告しました。2日目の情報交換会は、湖畔のホテルで開かれました。湖と夕景がとてきれいでした。昨晩に続いて多くの方と情報交換ができ、来年のPRも再び盛り上がりました。3日目、中部・北陸地区ブロック会議に参加した熊川宿は、ここでも空き家対策の取組みを報告しました。続いて、東郷文弥節人形浄瑠璃を鑑賞し、川内歴史資料館と川内まごころ文学館を見学、川内の歴史と文学に触れました。さらに広大な敷地の薩摩国分寺跡を見学した後、帰路につきました。



最後に、旧逸見勘兵衛家でお茶会が開かれ、熊川に移住された方の感想などをお聞きし、質疑応答など意見が交わされました。※この事業は、(社)近畿建設協会の助成を受けて実施されました。

3/16

住まい探しまち歩き

主催…熊川区・若狭熊川宿まちづくり特別委員会
協力…若狭町空き家情報バンク、若狭町歴史文化課

熊川宿内の空き家の売買や賃貸借を促進し地域活性化を図ろうと、熊川宿の空き家を活かした移住推進事業で、「美しい町並みで楽しく暮らしませんか!」と題して、住まい探しまち歩きが行われました。参加者らは宿場館に集合し、最初に主催者から挨拶と説明がありました。

続いてまち歩きが開始され、担当者が下ノ町から順に宿内5軒の空き家を案内しました。町内外から事前に申込みのあった5組7名が参加され、空き家対策部長の説明を聞きながら熊川宿での住まいを検討されているようでした。当日は天候にも恵まれ、穏やかな春の日差しを感じながらの見学会となりました。

2/11
12

陶の灯りとり制作

(まちづくり委員会活性化部会)

この夏の「陶の灯り展」で街道沿いに展示する作品を増やそうと制作教室が開かれました。

2日間で区民約20名が参加し、思い思いのデザインで粘土の器に穴をあけ、灯りとりを完成させていました。この後作品は、乾燥、素焼き、薬掛け、本焼きをして仕上がりました。





5/6

熊街道熊川宿 わんぱく駅伝大会 (目黒実行委員会)

かつて峠などの海産物が運び継がれた熊川宿で、小学生がたすきをつなぐ駅伝大会が行われ、町内6小学校から9チームの参加がありました。

レースは中ノ町をスタート・ゴールに、上ノ町の番所前を折返し、さらに下ノ町西口を折返す1キロを1チーム8人がそれぞれ駆け抜けました。

沿道には地元住民をはじめ、家族たちが大勢詰めかけ、熱い声援を送っていました。



5/3

白石神社例祭で山車巡行

祭礼を前に子どもたちが元気に稽古に励んできました。宵宮ではお囃子を奉納しました。

本日午前中、高本宮司による神事が執り行われ、午後からいよいよ山車が出発。大杉、上ノ町、中ノ町、下ノ町の区内全域を練り歩きました。

当日は快晴に恵まれ、多くの区民や観光客で賑わいました。



3/20

伝統芸能保存会の初練習

(熊川宿伝統芸能保存会)

今年の初練習では、事業・会計報告の後、てっせんの音合わせや踊りを行い、最後に熊川音頭を練習しました。

昨年から若いメンバーも加わって、盆踊りなどで大勢で華やかな踊りが見られるのが楽しみです。



6/30

七夕飾り付け (まちづくり委員会)

(活性化部会)

熊川宿から願いを込めて、今年も七夕の飾り付けが行われました。まちづくり委員が手分けして、色紙で飾り物を作り、短冊に願い事を書いてもらいました。

その後、雨対策のパウチ加工をして、30日午後、熊川児童館で6本の青竹に飾り付け、西口などに立てました。



6/22

ホタル観賞と陶の灯りイベント

(熊川宿ふるさと生協研究会・熊川地区地域づくり協議会)
(福井県ホタルの会・熊川公民館・若狭町)

フォークバンド「おつさんず」と大正琴サークルのミニコンサートが始まり、多くの家族連れが集まりました。辺りが暗くなると、山車蔵裏のピオトープと北川沿いへ螢を見に行きました。

途中、下ノ町の街道沿いには、この春住民らが作った陶の灯りが並び、幻想的な町並みを演出していました。



5/18

ツデーマーチおもてなし

(熊川地区・まちづくり委員会・女性の会)

1日目の熊街道コースのウォーカー約一、三〇〇人が順次熊川宿を訪れ、まちづくり委員会と女性の会がもてなす長擡鍋の振る舞いを受けていました。

当日は快晴に恵まれ、ウォーカーたちは清々しい新緑と歴史的可愛さを感じながら、元氣よく歩みを進めていました。



あとがき

先日、全国伝建協議会薩摩川内市大会に参加させていただきました。全国から伝建関係者260人が集まりました。

期間中天候にも恵まれ、講演会や分科会、現地視察、伝統芸能鑑賞など色々なプログラムが組まれていて、伝建地区としての今後を考え、薩摩川内の歴史や文芸に触れることができました。情報交換会では熊川宿のPRもさせていただきました。また、3日間を通して大会の準備や進行、来訪者の対応に多くの方々関わっていらっしゃいました。

いよいよ来年5月、この伝建大会の福井県若狭町大会が開催されます。若狭町や熊川宿は人口も少ないので限られた人数での対応になると思いますが、熊川宿の自然や歴史、まちづくりの取組みを知って頂き、心からのおもてなしで、全国から来てくださる多くの方々に喜んで頂きたいと思っております。(編集委員)

※今回の町並み通信第27号は、4ページ構成でお届けいたしました。

第31回 地域づくり団体
全国研修交流会福井大会
小浜市・若狭町分科会が
開催されます。
小浜市と共同で実行委員会を
設立し、準備を進めています。

◇日程

11月16日(土)
午後：福井市会場から小浜市会場(小浜西組)へ移動

15:00~21:00: 視察研修・事例発表・夜の散策・交流会など

11月17日(日)
若狭町会場(熊川宿)へ移動
視察研修・昼食・解散

◇お問合せ先
同実行委員会 ☎0770-53-1111(内線445)